

日本小児精神神経学会 第17回研修セミナー

『明日からやってみよう！ ペアレント・トレーニングの手法を用いたスタッフ支援』

講師：長瀬 美香 先生 心身障害児総合医療療育センター 小児科医長

講師のことば

ペアレント・トレーニング(以下ペアトレ)は育てにくさをもつ子どもの親の支援方法として様々なプログラムが展開されています。平成26年7月の厚生労働省の「障害児支援の在り方に関する検討会」の報告書でも、家族支援を重視し、その充実のためにペアトレの推進を提言しています。

演者は、外来や子ども発達支援センターで発達障害児の親のグループを対象とするペアトレを実施してきました。一方、近年は医療・福祉型障害児入所施設や児童養護施設では被虐待児が増加し、施設職員は子どもとの関わりに困難を抱えています。その支援として、演者は、子どもと職員的生活の中でのやりとり自体が、安全感や保護膜の再形成、人間関係の修正に向けた治療的要素をもっているとする「治療的養育」の観点から施設職員向けにペアトレを実践してきました。

本研修で紹介するペアトレは国立精神保健研究所で開発されたプログラム(まめの木式)を基礎としています。まめの木式ペアトレでは、親が子どもの行動を客観的にとらえ、子どもに肯定的な注目を与えるなどの具体的なスキルにより、子どもの行動の変容のみでなく、温かい親子関係や、親子双方の自信向上を目指しています。当日は、ペアトレの基本プログラムをワークやロールプレイを通して研修していただきます。また、施設での実践についてもご紹介させていただきます。

講師プロフィール

平成6年 東京医科歯科大学医学部医学科卒業。同年 東京大学医学部小児科入局。
平成10年より心身障害児総合医療療育センター勤務。現在、板橋区子ども発達支援センター顧問、板橋区要支援児保育指導員総括責任者、板橋区小中学校特別支援学級相談医、昭和女子大学初等教育学科非常勤講師。

【報告書】平成20年度障害者保健福祉推進事業 発達障害児に対する早期からの地域生活を効果的に行うための調査研究「保育園等における発達障害児の対応の現状と支援のあり方 ―ペアレントトレーニングの手法を用いた保育実践の効果と啓蒙」成果物リーフレット「子どもたちに肯定的な注目を」(改訂版)：当日配布予定

平成22年度福祉医療機構助成事業「肢体不自由児施設における被虐待児への療育支援モデル事業」虐待を受けた肢体不自由児への対応 ―ペアレントトレーニングの手法を用いた治療的養育― 他

日 時：平成27年6月27日(土) 10:00～12:00(受付開始9:30)

会 場：伊藤謝恩ホール(伊藤国際学術研究センター 東京大学キャンパス内)

参加費：日本小児精神神経学会会員 無料
非会員 2,000円(当日会場でお支払い下さい)

申 込：事前登録が必要です。必要事項(氏名、所属、職種、日本精神神経学会会員・非会員の有無)をご記入のうえ、E-mailにて下記までお申し込みください。

E-mail：jsppnken@gmail.com

日本小児精神神経学会企画委員会 中田洋二郎

締 切：平成27年6月20日(土) (申し込み状況によっては、当日受付もいたします)